

2023年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

1. 動向

2023年1-3月の延べ宿泊者数（全体）は「1,727,360人」、前年同期比で「+54.9%」でした。

日本人延べ宿泊者数は「1,576,630人」、前年同期比で「+41.9%」でした。

外国人延べ宿泊者数は「150,730人」、前年同期比で「+3,640.2%」でした。

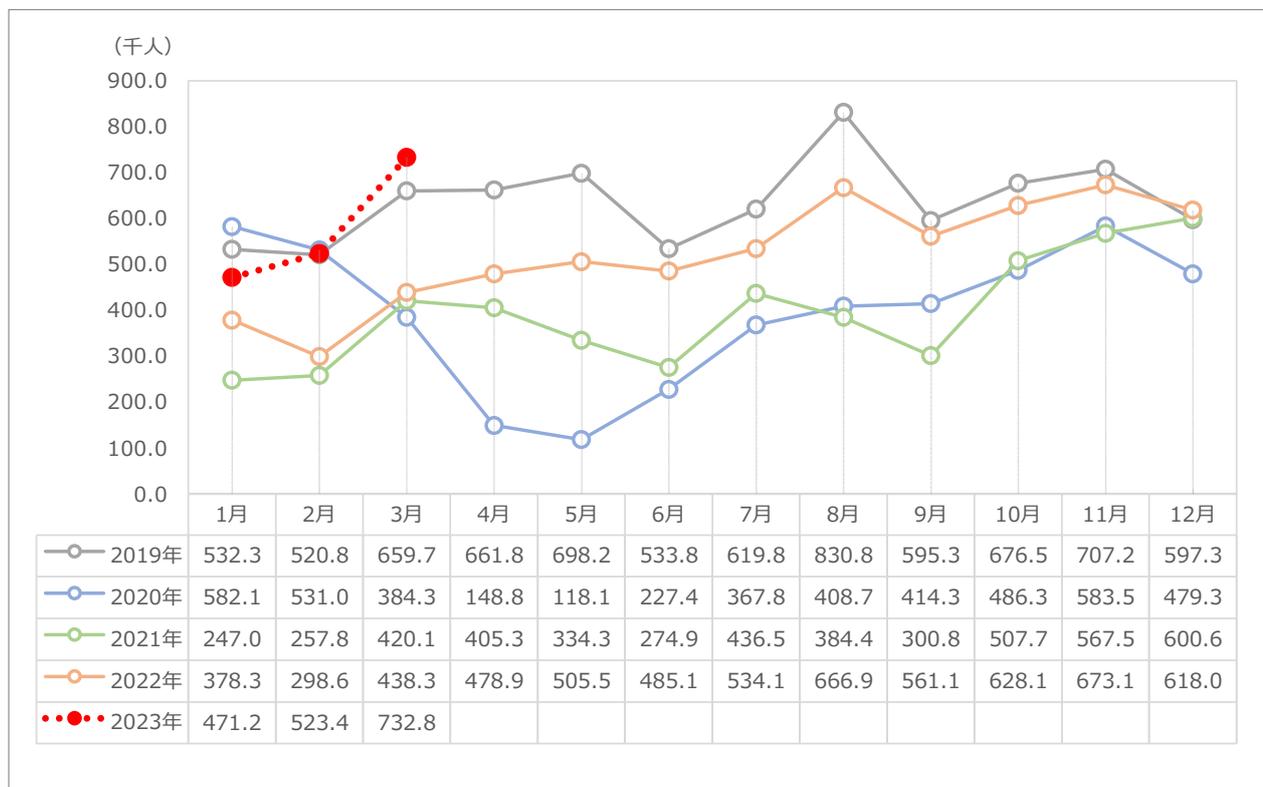
2. 延べ宿泊者数

総数：	1,727,360	人	（前年比： + 54.9 %）
1月：	471,180	人	（前年比： + 24.6 %）
2月：	523,360	人	（前年比： + 75.3 %）
3月：	732,820	人	（前年比： + 67.2 %）

※前年比・・・2022年1Qとの比較

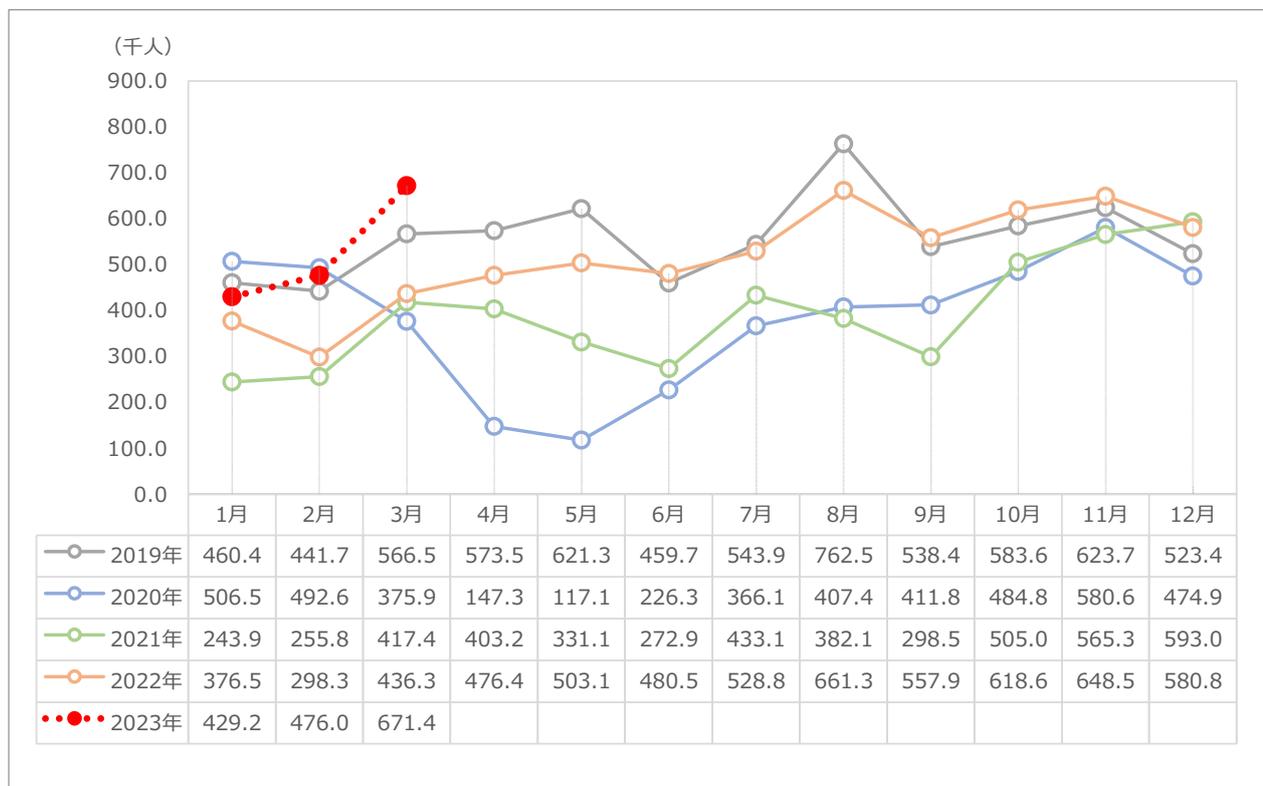
3. 推移

① 延べ宿泊者数（全体）

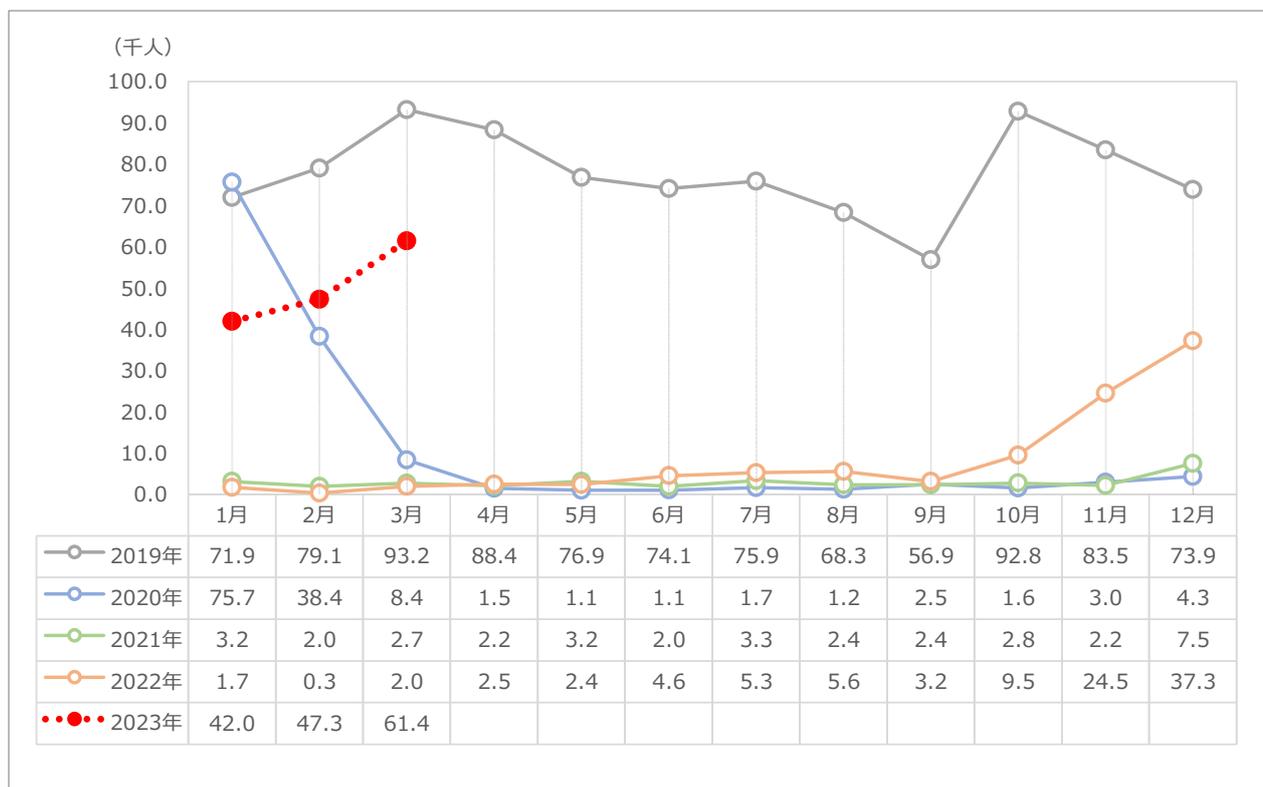


2023年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

② 日本人延べ宿泊者数

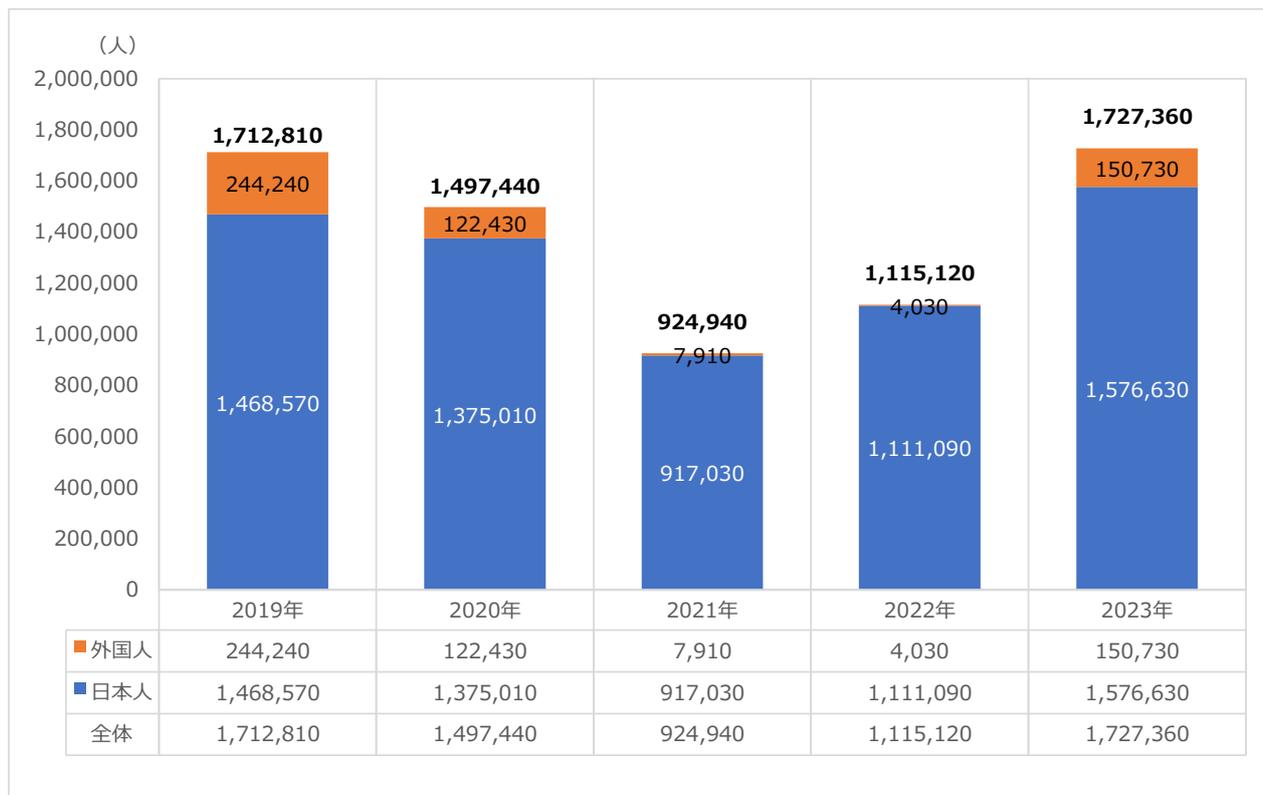


③ 外国人延べ宿泊者数

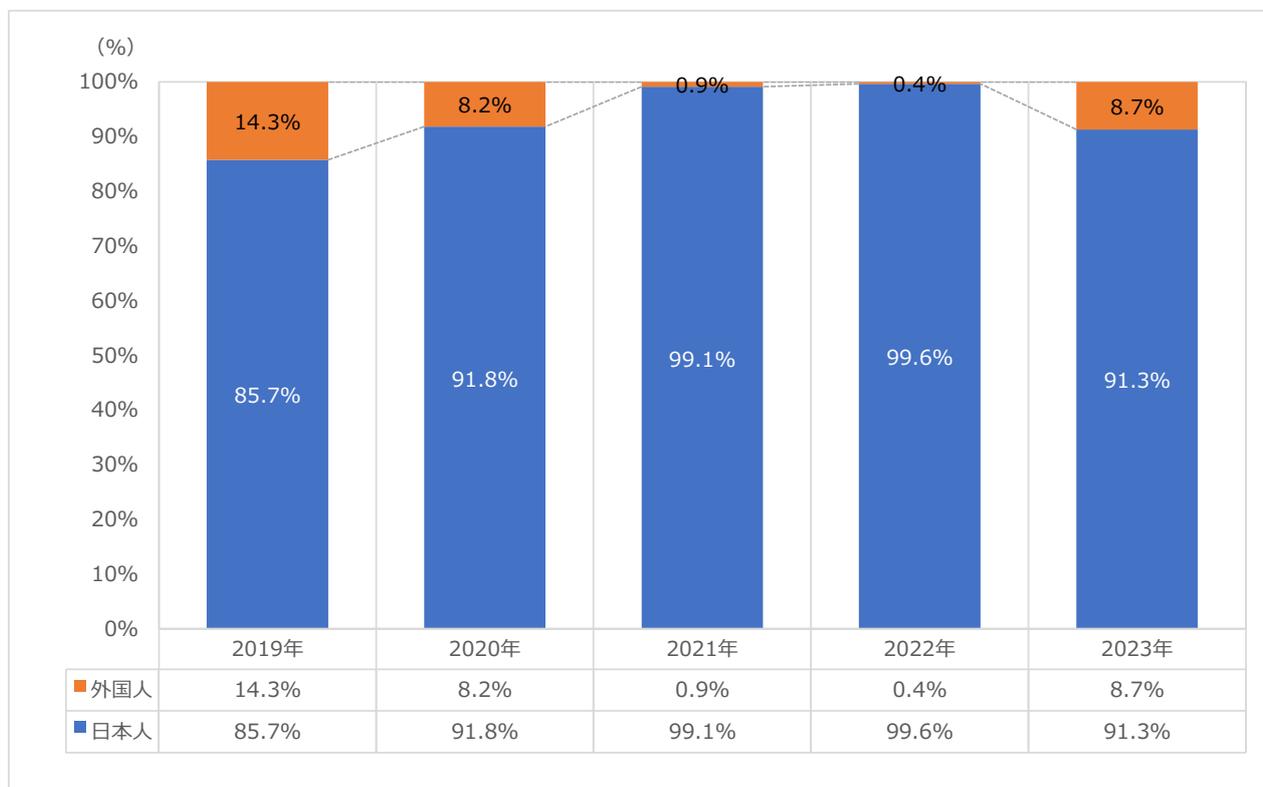


2023年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

4. 日本人・外国人別宿泊者数



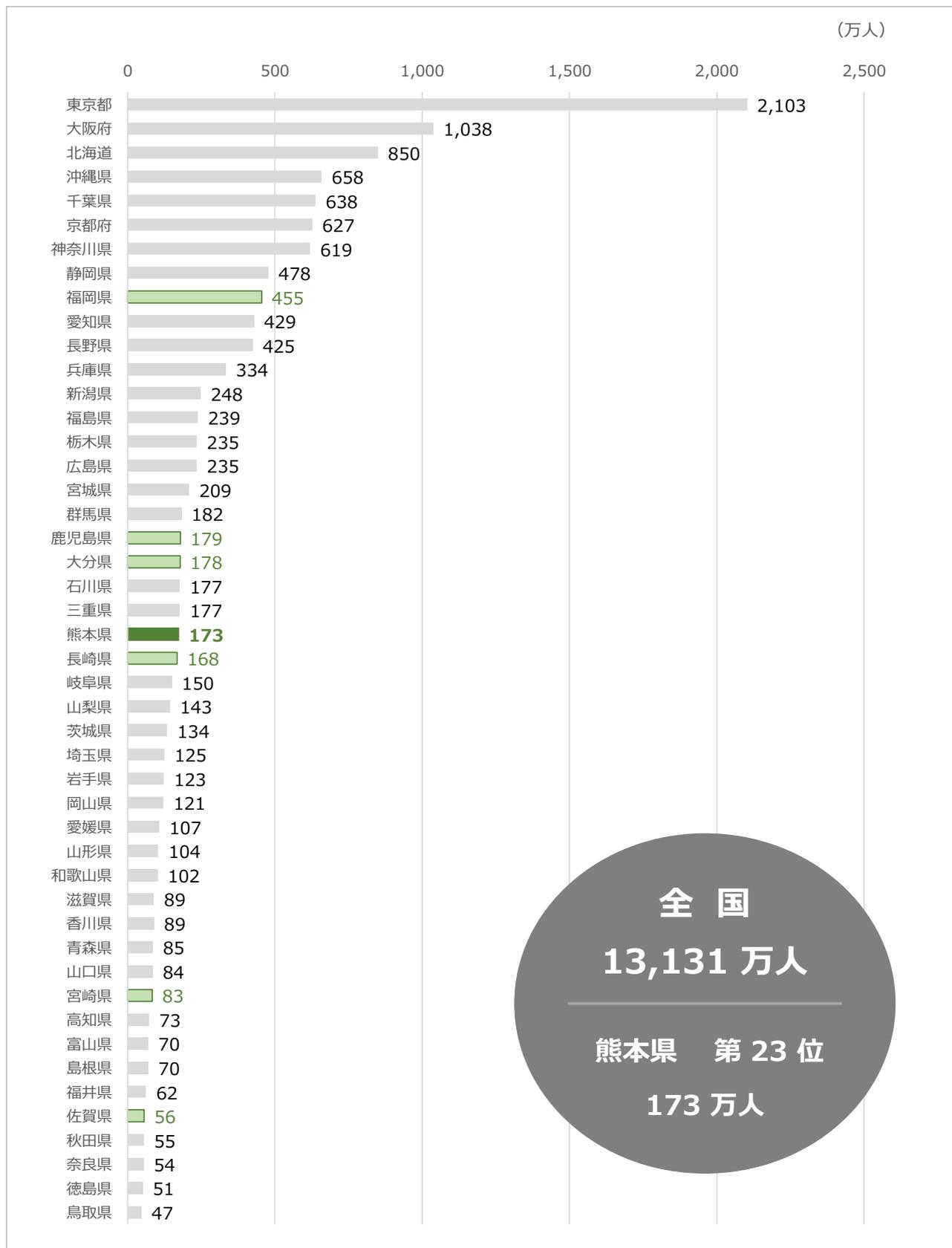
5. 日本人・外国人別割合



2023年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

6. 都道府県別延べ宿泊者数

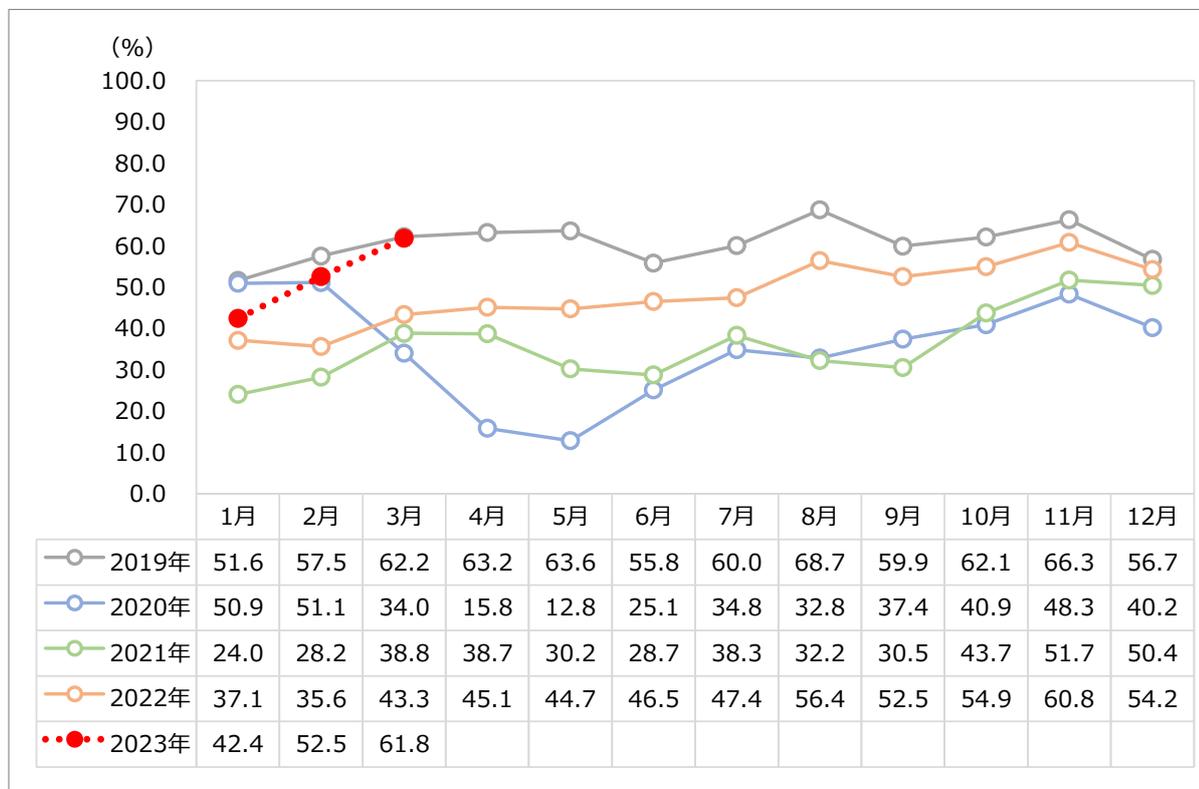
※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用



2023年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

7. 客室稼働率

① 推移



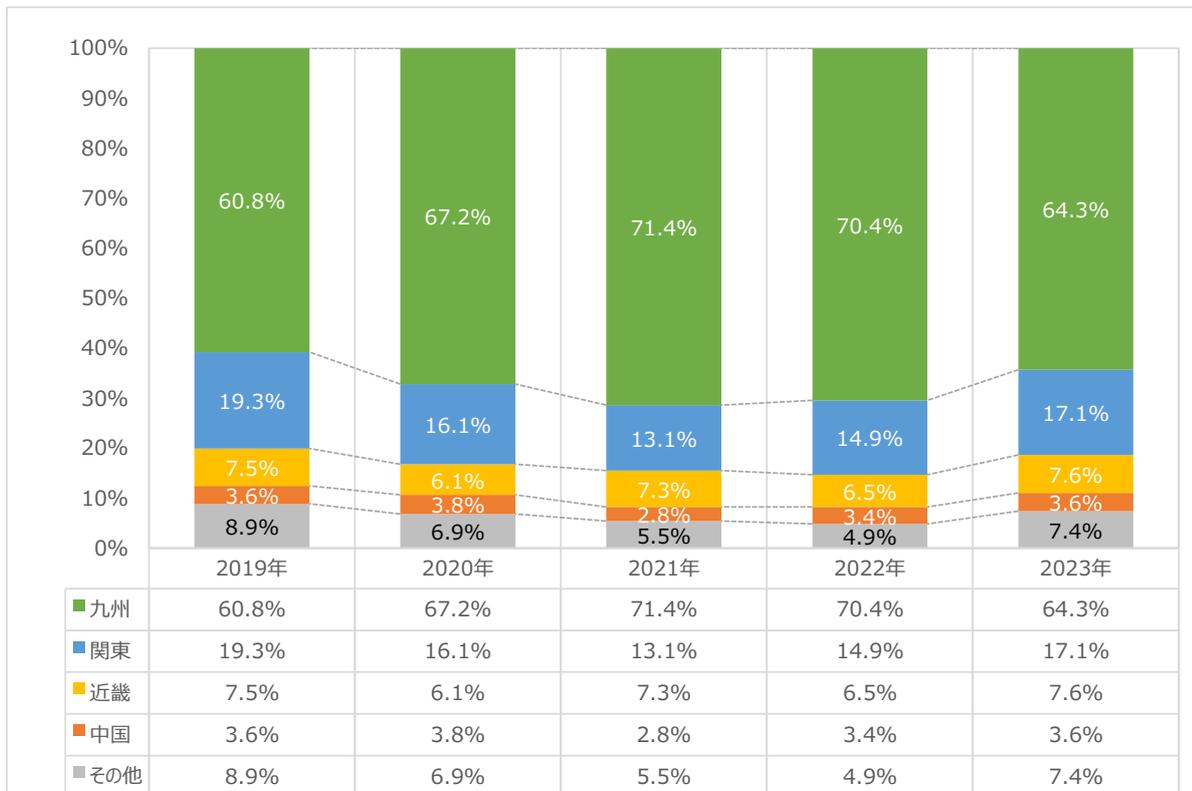
① 施設別稼働率

施設	2022年			2023年		
	1月	2月	3月	1月	2月	3月
全体	37.1%	35.6%	43.3%	42.4%	52.5%	61.8%
旅館	24.8%	20.8%	29.0%	32.3%	40.7%	43.9%
リゾートホテル	19.1%	11.9%	23.9%	32.3%	41.9%	56.9%
ビジネスホテル	49.1%	51.1%	58.1%	58.5%	71.2%	77.2%
シティホテル	38.5%	36.1%	43.4%	51.0%	66.3%	76.1%
簡易宿所	22.8%	17.2%	24.8%	13.7%	9.6%	31.2%
会社・団体の宿泊所	0.4%	0.0%	11.5%	13.2%	30.2%	2.5%

2023年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

8. 国内発地別延べ宿泊客数（従業者数100人以上の施設）

① 地域ブロック別割合



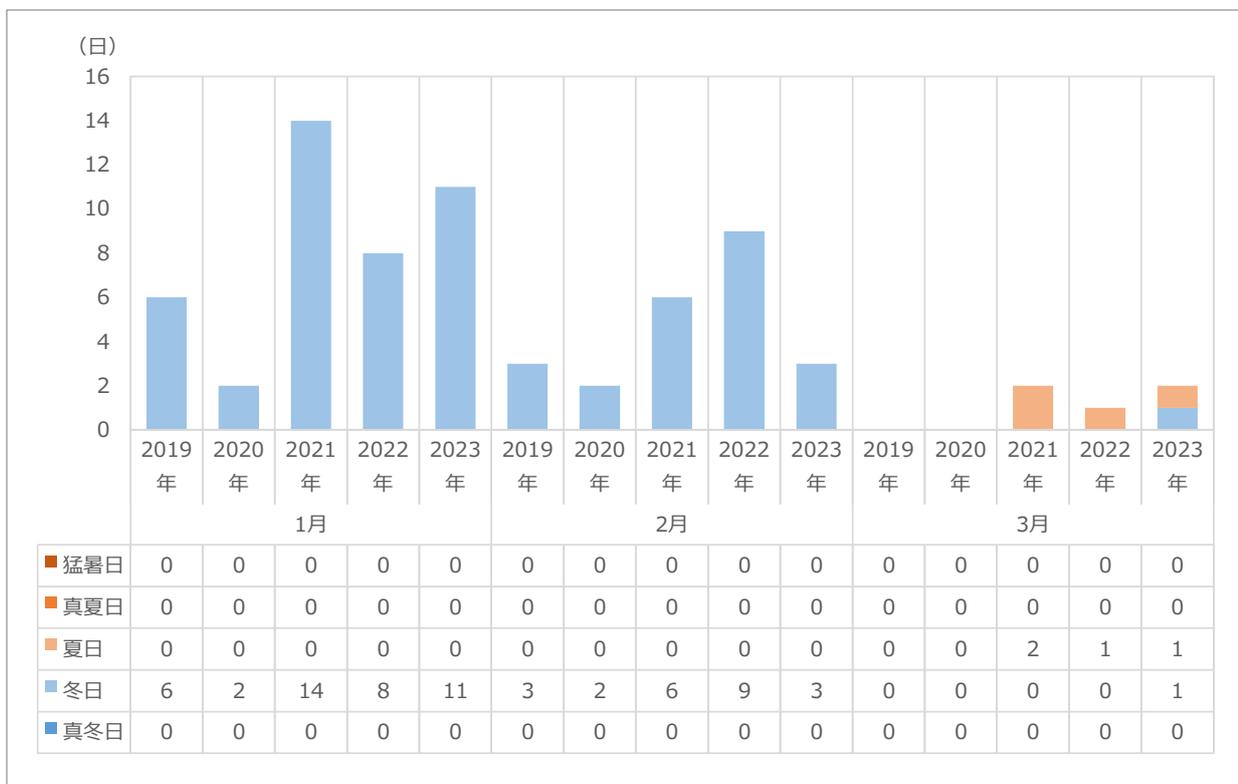
② 都道府県別順位（上位10都道府県）

ランキング	2022年		2023年	
1	熊本県	20,783人	熊本県	24,059人
2	福岡県	16,606人	福岡県	23,743人
3	東京都	5,228人	東京都	8,824人
4	鹿児島県	2,636人	鹿児島県	4,189人
5	神奈川県	2,360人	神奈川県	3,555人
6	大阪府	2,292人	大阪府	3,399人
7	宮崎県	1,955人	宮崎県	3,149人
8	長崎県	1,674人	長崎県	2,891人
9	大分県	1,655人	大分県	2,665人
10	広島県	1,282人	愛知県	1,998人

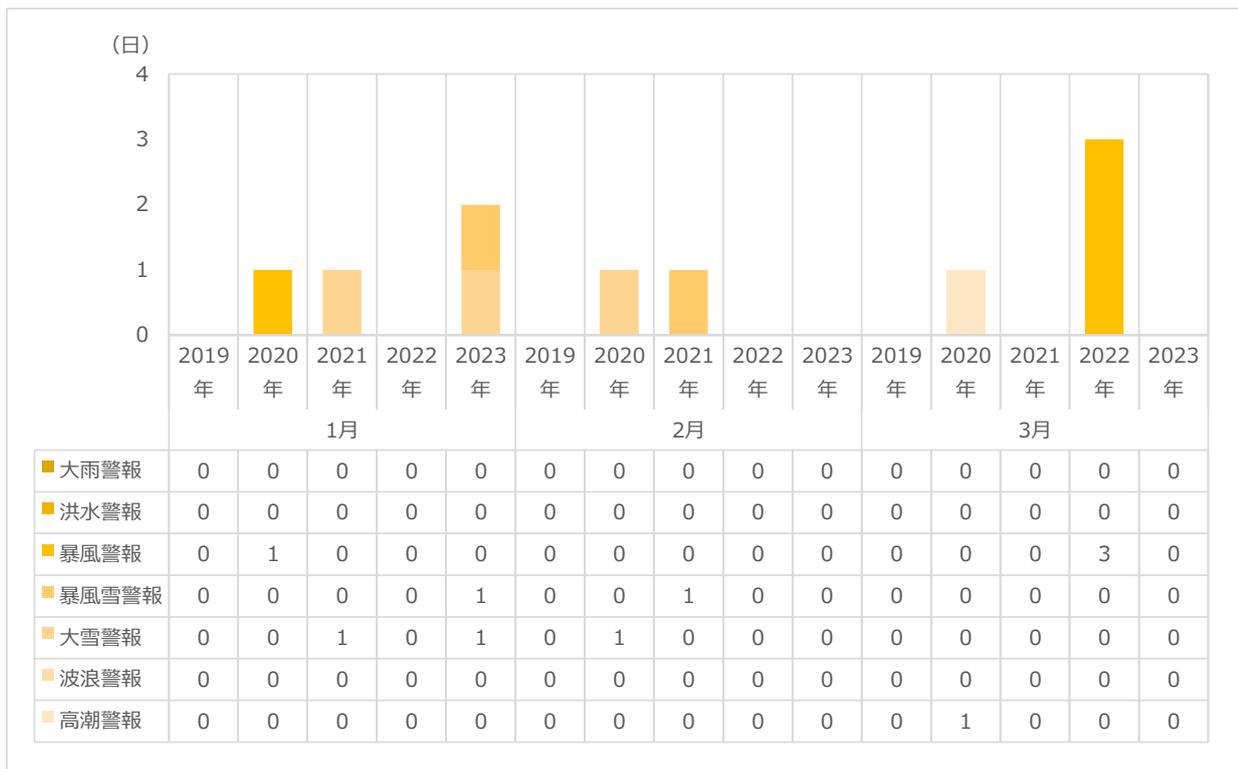
2023年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

9. 気象情報

① 真冬日・冬日、夏日・真夏日・猛暑日の観測日数（熊本観測所（熊本市））



② 県内警報発令日数



2023年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

10. 地域のトピックス、観光シーズンの動向など 【特記事項がない場合は空欄】

▽ 地域のトピックス ▽

- ・ティーウェイ航空の熊本・ソウル間定期便が運航再開（1/5）
 - ・熊本県、熊本県観光連盟、「熊本の温泉」をプロモーションするWEB動画を公表（2/16）
 - ・天草の上島と下島を結ぶ「本渡道路」が開通（2/25）
 - ・HIS、熊本市と観光誘客に関する連携協定を締結（3/17）
 - ・熊本空港の新ターミナルビルが開業（3/23）
- ・「くまもと再発見の旅（全国版）」実施（エリア：熊本県全域、対象：全国（W）、宿泊期間：2022/10/11～※）

※GW・年末年始を除く
（W）：ワクチン接種証明、もしくは検査による陰性証明が必要

▽ 観光シーズンの動向 ▽

1月前半は閑散期にあたることに加え、新型コロナの再流行、全国旅行支援の割引縮小により稼働状況が低下したが、1月後半以降は持ち直した。2月中旬以降は、観光需要が見込める土曜日のみならず、TSMCほか半導体関係をはじめとした工事・ビジネス需要、熊本空港のソウル便再開等によるインバウンド客の増加により平日の稼働状況も好調となった。特に3月は、外国人延べ宿泊者数が2019年同月の66%まで回復、延べ宿泊者数全体でみても、統計のある2007年以降の同月と比較すると、最も多かった2018年に次ぐ人泊数となった。

熊本県宿泊旅行統計調査について

- 本調査は以下を調査結果として表章しています。
 - 延べ宿泊者数、発地別宿泊者数・割合、調査対象施設数、有効回答数・回答率、国籍（出身地）別宿泊者数・割合
観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」の調査票情報の提供を受けて県内11の地域ごとに推計または集計した値
※2018～2021年は確定値、2022年は第2次速報値を採用
※新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国規制の影響で、外国人延べ宿泊者数が著しく少ないことから、「国籍（出身地）別外国人者数 延べ宿泊構成比」「国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数・割合」の掲載を見送っている。
 - 気象情報
気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値
 - 地域のトピックス
メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したもの
 - 観光シーズンの動向
「DATASALAD」（公益財団法人九州経済調査協会）の宿泊稼働状況指数、「観光予報プラットフォーム」（観光予報プラットフォーム推進協議会）の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの
- 推計方法は、標本調査結果を母集団に拡大する「ウェイトバック集計」により県独自で算出しています。
- 調査結果の整合については以下に注意が必要です。
 - 本調査内の数値
端数処理（表記のひとつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。
国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊者数と一致しません。
 - 他の同類・類似調査
調査ごとに仕様が異なるため同類・類似調査であっても結果に差異が生じ、その程度は大小さまざまになることが想定されます。
⇒ 仕様：調査の目的や手法、入手する情報やその時期など

*本レポートの対象市町村は「県内全市町村」です。